

大濱信泉プロジェクト『勇気づけの教育』の推進 (66)



～ 大谷翔平選手から学ぶ ～

石垣市教育委員会 学校教育課長 前三盛 敦

ワールドベースボールクラシック2023が、いよいよ3月7日から始まります。2022年のメジャーリーグが閉幕して以来、エンゼルス大谷翔平選手の大ファンである私は、しばらく大谷ロスが続いていましたが、もうすぐ侍ジャパンの大谷選手を応援できることを今からワクワクしています。

私が大谷選手を大好きな理由は2つあります。1つは、世界中の超一流選手が集まるメジャーリーグで、投げて打つての二刀流で大活躍する姿や勝利に向かってひたむきにプレーをする姿へのあこがれです。もう1つは、大谷選手の素晴らしい人間性です。

大谷選手が試合中、四球で一塁に向かった時、グラウンドに落ちているゴミをさりげなく拾いポケットに入れたことが、ニュースとして報道されました。大谷選手は、たまたまゴミを拾っただけではなく、それをいつも心がけているとのこと。また、打者の折れたバットを拾ってあげたり、死球や危険な接触プレイの後でも相手への気遣いを忘れません。

どういう思いで大谷選手はそのような行為をしているのでしょうか？ 大谷選手のその素晴らしい行動姿勢にふれることができるものがあります。花巻東高校時代に作った目標シートです。この目標シートは「マンダラート」と呼ばれるもので、真ん中の大きな目標「ドラフトで8球団以上から1位指名を受ける」ために必要な8つの要素を設定し、さらにその8つの要素のまわりに8つの行動目標（合計64）の目標を掲げるものです。大谷選手は、8つの要素に

体のケア	サプリメントを飲む	FSQ 90kg	インテップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールをたたく	リストの強化
柔軟性	体づくり	RSQ 130kg	リリースポイントの安定	コントロール	不安をなくす	力まない	キレ	下半身主導
スタミナ	可動域	食事朝7杯夜3杯	下肢の強化	体を開かない	メンタルコントロールをする	ボールを前でリリース	回転数アップ	可動域
はっきりした目標・目的を持つ	一喜一愛しない	頭は冷静に心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ピンチに強い	メンタル	雰囲気になれない	メンタル	ドラフト18球団	スピード180km/h	体幹強化	スピード180km/h	肩周りの強化
波をつくらない	勝利への執念	仲間を思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナーキャッチボール	ピッチングを増やす
感性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ	カウントボールを増やす	フォーク完成	スライダークレ
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に使う	運	審判さんの態度	遅く落差のあるカーブ	変化球	左打者への決め球
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む	ストレートと同じフォームで投げる	ストライクからボールに投げるコントロール	奥行きをイメージ

「体づくり」「コントロール」「キレ」「スピード160km」「変化球」「運」「人間性」「メンタル」をあげています。そして、その中の「運」を得るための行動目標として「あいさつ」「道具を大切に扱う」「ゴミ拾い」等があるのです。

これは、当時の佐々木洋監督から「ゴミは誰かが落とした運。ゴミを拾うことで運を拾うんだ。そして自分自身にツキを呼ぶ。そういう発想をしなさい。」と学んだことからの実践をずっと続けているのだそうです。

これは簡単なことのように、なかなかできるものではありません。私も校長講話で学校に落ちている

菓子袋や空き缶等の改善を図るために、次のような話をしたことがあります。

「誰も見ていないから道ばたや校庭にゴミを捨ててしまった。誰も見ていないから、ゴミがあることに気づいたけど拾わなかった。そういう経験ありませんか?」「こんな時、あなたの行動を必ず見ている存在があります。どんな存在だと思いますか?」「それは、お天道様です。お天道様とは太陽のことで、たとえ、誰にもみられていなかったとしても、空の上の太陽はいつでもあなたの行動を見ているよ」と伝えました。また、「お天道様の他にもあなたの行動をみている存在があります。何だと思いますか?」「それは自分自身です。誰が見ていなくても、自分の心はその行動をしっかり見えていますよ。意識せずとも、記憶は残ります。」と伝えました。

解釈としては、悪いことをして誰にも見られなくて、その時は「見られてなくてよかった」と思っても、巡り巡っていつかは悪い運として自分に返ってくる。また、善い行動をしたときも、誰が見ていなくて、ほめられることも感謝されることもなくても、巡り巡っていつかは、自分に良いこととして返ってくることを「陰徳あれば陽報あり」の諺を使って伝えました。

しかし、佐々木監督の指導は、まだ別の続きがありました。「ゴミ拾い」をする行為は、お天道様や神様が見ていて「運を味方」にできるということだけではなく、「気づきの力」と「行動の力」をつける訓練だったのです。何も考えずにただ歩いていたら、ゴミは案外視界に入らないものですが、ゴミ拾いを意識すると、そこにゴミが落ちていることに気づくようになります。しかし、ゴミが目にも留まっても「ゴミを拾おう」と思わなければ、行動できません。つまり、ゴミ拾いは、成功するために大切な「気づきの力」と「行動の力」を身につけることにあったのです。

世界のイチロー選手の野球に取り組む姿勢は、私たちに大きな示唆を与えてくれます。イチロー選手を応援しつつ、その姿勢も真似していきたいですね。